

会 議 録

会 議 名	令和5年度第3回文化財保護審議会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和5年11月1日（水）午前9時30分から午前10時15分		
開 催 場 所	小金井市文化財センター学習室		
出 席 委 員	二宮会長 狐島委員 椎名委員 伊藤委員 太田委員		
欠 席 委 員	鈴木委員		
事 務 局 員	三浦生涯学習課長 碓井文化財係長 高木主任（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報 告</p> <p>(1) 文化財ウィーク主催事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 地域史講座「縄文遺跡と土器のみかた」</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 史跡めぐり「小金井市・国分寺市共催 縄文遺跡群ウォーク」</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 文化財講演会「文化財としての玉川上水・小金井桜と地域の景観」</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 企画展「明治の旧公図」について</p> <p>(2) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について</p> <p>(3) 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 平代坂遺跡発掘調査速報について</p> <p>(2) 多摩郷土誌フェアの開催について</p> <p>3 視 察</p> <p>4 次回の会議日程</p> <p style="margin-left: 20px;">令和6年3月6日、13日（水）</p>		

## 会 議 結 果

三浦生涯学習課長	<p>定刻より早いですけれども、皆様おそろいでございますので、始めさせていただきますことよろしいでしょうか。</p> <p>では、お忙しいところ御参集いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和5年度第3回文化財保護審議会を開催させていただきますと思います。</p> <p>本日は鈴木委員より御欠席の連絡をいただきありがとうございますので、あらかじめお伝え申し上げます。</p> <p>また、会議の終了後には、視察といたしまして、企画展の見学を行いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。ちょっと寒いですが。大丈夫ですか。すみません。寒いですかね。</p> <p>それでは、議題に先立ちまして、配付物の確認をお願いいたします。</p>
碓井文化財係長	<p>では、資料を確認させていただきます。</p> <p>まず、A4、1枚物の次第になります。あと、資料1といたしまして、小金井市秋の文化財イベント情報、そして資料2といたしまして、本日これからこの審議会終了後に御見学いただきます企画展のチラシになります。あと、資料3といたしまして、名勝小金井（サクラ）整備事業令和5年度、そして、資料4といたしまして、市報こがねいの10月1日号の1面の写しになります。そして、資料5といたしまして、平代坂遺跡発掘調査、あと、それ以外に補足資料といたしまして、東京の文化財第134号と、あと名勝小金井（サクラ）100周年記念のステッカーをお配りさせていただいております。</p> <p>本日の資料は以上になります。</p> <p>申し訳ございません。平代坂遺跡の調査報告書が完成してまいりましたので、そちらのほうを皆様にお配りさせていただいております。大変申し訳ございません。失礼しました。</p> <p>本日の資料は以上となります。御確認、よろしくお願ひいたします。</p>
三浦生涯学習課長	<p>ありがとうございました。それでは、次第に沿ってということになりますが、以降の議事進行につきましては二宮会長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
二 宮 会 長	<p>おはようございます。天候が上がったり下がったりでちょっと体調を崩されている方もいらっしゃるかもしれませんが、十分に御注意いただき、進めていきたいと思ひます。</p> <p>1 報告</p> <p>(1) 文化財ウィーク主催事業について</p> <p style="margin-left: 2em;">ア 地域史講座「縄文遺跡と土器のみかた」</p> <p style="margin-left: 2em;">イ 史跡めぐり「小金井市・国分寺市共催 縄文遺跡群ウォーク」</p> <p style="margin-left: 2em;">ウ 文化財講演会「文化財としての玉川上水・小金井桜と地域の景観」</p>

<p>二 宮 会 長</p>	<p>エ 企画展「明治の旧公図」について</p> <p>それでは、まず報告事項ですけれども、(1)から順番に進めていきたいと思えます。1のアからエまでまとめて、事務局よりお願いいたします。</p>
<p>高木主任 (学芸員)</p>	<p>おはようございます。私から報告事項の1をまとめて報告させていただきます。</p> <p>まず、アの地域史講座、お手元の資料1も併せて御覧ください。それぞれの事業は東京文化財ウィークの関連事業ということで行っているものです。小金井市だけでなく、都内全域で文化財のイベントが各種行われております。その中で小金井市は地域史講座、史跡めぐり、文化財講演会、企画展を企画実施しているものです。</p> <p>まず、地域史講座ですが、こちらは連続3回講座で行うもので、既に初回の10月21日が終了しております。残り11月18日、12月16日の予定でおります。テーマは「縄文遺跡と土器のみかた」というものとしております。こちらは平成30年度に刊行しました小金井市史、通史編ないしは考古・中世編に携わっていただいた中山先生に、小金井の歴史、いわゆる地域史ですね。地域史を縄文の遺跡から見えていくというものを依頼しまして、小金井の縄文だけではなくて周辺自治体も含めて、縄文時代の遺跡を概観していただくものです。また、特徴としては、この後に第2回、第3回として、より具体的な話をしていく中で、実際の土器も参加者に手に取って、土器の研究、また土器の見方、識別の仕方などを実際に見ていただくのかなと思っております。ですので、引き続き今月18日、来月16日を予定しております。</p> <p>続いて、イの史跡めぐりです。こちらは、小金井市は毎年、例年行っている史跡めぐりですね。今年度は国分寺市と連携して共催ということで、こちら縄文を絡めた話ですけれども、縄文遺跡群というイベント名で行うものです。実施は11月12日日曜日の午前です。おかげさまで定員も満員になりまして、あとは国分寺市と具体的なルートの再確認、再調整をしていくところです。縄文遺跡は小金井のみならず野川の流域において非常に多く見つかっているもので、特に野川の水源地である国分寺市でもやはり同様の縄文時代の遺跡が数多く見つかっておりますので、なかなかこういう連携事業というのは少ないんですけれども、縄文遺跡という共通の話題でまちを巡るとするのは非常に意義があるかなと思っております。今回試しにこういう形で市役所の職員が案内役として、それぞれ国分寺市のエリア、小金井市のエリアを見て回っていきます。</p> <p>続いて、ウの文化財講演会です。こちらのテーマは「文化財としての玉川上水・小金井桜と地域の景観」という、そういうようなテーマ設定をしております。こちらはちょうど実施する12月9日がちよっ</p>

と胆でして、これが名勝小金井（サクラ）が文化財とされてから99年目の節目の年です。12月9日が指定日なので。ということは、来年12月9日が100周年で、その1年前のプレイベントという形で小野良平先生、立教大学の先生に景観から見る文化財を御講演いただくものです。今後の文化財活用にもかかる、またはまちづくりにも恐らくつながっていく、そのようなお話を検討してもらっています。小金井桜、玉川上水の歴史だけではなくて、今後、どういうふうに玉川上水、小金井桜を景観として維持して、また活用していくかというところが大事だと思いますので、次のステップとしてこういう景観も意識した取組を考えていく中で小野先生にお願いした次第です。時間は午前10時からお昼まで、場所は東小金井駅から徒歩5分と近いマロンホールで行います。こちらは来年の名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業の一環として行われるものです。

最後の報告が企画展です。詳細は後ほど実際の展示を御覧いただきながら担当の学芸員が解説しますが、簡単に企画内容をお伝えしますと、企画展「明治の旧公図」というものです。こちらは資料を保管しているのが小金井市役所内の資産税課、税を所管する部門のほうでずっと保管している、明治時代の公図となります。いわゆる地租改正に絡んで作成した図面ということです。こちらは小金井市域、当時は村ですけども、現在の市域で言うと、100分割をして公図が残されておりまして、担当の学芸員の中で確認したところ、かなり歴史的にも重要な記載が書き重ねられている部分が非常に興味深いということで、明治時代のオリジナルの公図から恐らく何十年か経過していく中で情報が手書きで書き足されているところが都市の計画の履歴が分かってくるということがこの公図から読み取れる面白さということで、今回、旧公図100点のうちの一部を公開させていただきました。小金井市の資産税課とも協力した形で初公開というものになります。本日から始まりまして、年末の12月28日が会期となります。後ほど現物を見ていただきますが、測量図に近いものですので、非常に細かい区画が読み取れるかと思います。公図そのものは非常に状態もよく残っている。今後、小金井市の文化財のほうとも調査研究の素材としてほかの文書群とも比較していければなと思っております。

以上が文化財ウィークに絡む事業の報告でございました。以上です。

二宮会長

ありがとうございます。盛りだくさんの報告でしたけれども、特に御質問、御意見等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。資料1は会議用の資料、これはどこかに配っていらっしゃるんですか。

高木主任(学芸員)

そうですね。一般用にも配っている。チラシを会議資料用に直しています。

二宮会長	そうすると、裏の③の時間とか、表記が午前10時の「時」が抜けています。
碓井文化財係長	ありがとうございます。すみません。
二宮会長	それから、「開設記念会館」の、次のあたりは1つ空白が入っちゃっているという。
高木主任(学芸員)	御指摘ありがとうございます。修正して。
二宮会長	このままでも構わないと思いますけど。 それでは、最初の御報告4件ありましたけど、よろしいでしょうか。
二宮会長	(2) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について じゃ、続いて(2)の報告について高木さんのほうからお願いいたします。
高木主任(学芸員)	続きます、(2)で、玉川上水・小金井桜の整備活用事業についてです。こちらは現在の進捗状況の御説明となります。資料3を御覧ください。平成22年度からこの事業を進めてまいりました。この間、小金井市のエリアの中で、およそ全体の70%は、一定、雑木の伐採と桜の補植を進めてまいりました。残りの30%はまだ未着手の部分があります。今後、一定管理地の70%のエリアをよりしっかりメンテナンスをして景観維持を図り、史跡の保護もしっかり進めていくというのが現在重要な課題となっております。つきましては、こちらの目的にもありますが、整備が一定完了した区間においても引き続き既存木の枯死が進んでおります。枯れてなくなっている状態です。ですので、これまでの十数年間の整備事業の効果を高めるため、そして、名勝景観の維持を図るために桜の植栽を実施する。これが目的でございます。
	続いて、内容。こちらは2つありまして、1つは既存木の欠損に対する補植。ここでの既存木の概念は古木、太い木のことを指しますが、そちらが枯れて伐採することで、そこが空き地になるわけなので、その後継樹という考え方で木を補う、それが補植となりますが、桜をそこに補植していく考え方。
	もう1つ、2番目は、新たに玉川上水のフェンスの内側に次世代の並木を形成する。その考え、整備方針の下、8メートルないしは10メートル間隔の並木を形成するために植栽するものです。もちろん、これは既存木の桜とけんかしないような形で、間隔を保ちながら配置することも当然配慮はしております。この2つの考え方で今年度は取り組む予定です。
	次の場所です。こちらは既に整備を実施している区間、今回は、西は小金井橋で、東は新小金井橋の約600メートル区間の中で植栽をいたします。
	本数、またその内訳でございます。当然ながら桜は桜でも歴史的背

<p>二宮会長</p> <p>狐島委員</p> <p>高木主任(学芸員)</p>	<p>景に基づいたルーツのあるヤマザクラを指定しております。それを10本用意して、現地に送っています。候補地は地図上にあります三角印の場所が候補地です。この中で最終的に10か所を選定します。それは東京都教育庁、関係者とともに現地確認して、最終決定いたします。</p> <p>今回、ちょっと重要なポイントとしまして、苗木の調達元なんですけれども、括弧書きにあります、市民団体と農業高校という名前があります。市民団体はこれまで長年御協力いただいております名勝小金井桜の会が接ぎ木をしたものが成長したものです。それはこれまでのこの計画事業を支えてもらっていたものです。今回重要なのは、農業高校高校生が一からつくった接ぎ木を初めて植樹する、そういうもくろみといたしますか、目標を立てております。ここの審議会の場においても、以前、報告の中で農業高校と連携協定を結びましたと。今後、名勝小金井桜の保護・継承のために育成も連携して図っていくというところが一番重要なポイントでしたので、実はこれは水面下でこの連携を進めておりまして、このたび何とか現地に植えられるめどが立ちましたので、10本の中のうち何本かは農業高校生が継いだ桜を入れていく。それは今年度がそのスタートとなります。新たな連携協定を結んだとともに、重要な活動の一環として、農業高校の1つ実績が今年できるのかなと期待はしております。</p> <p>植える時期は毎年恒例、同じで、来年2月の中で、現地にて植栽いたします。この植栽に関しても、農業高校が自分たちで育成したものについては農業高校が自ら現地にて植樹作業を行う。これも一応予定では考えております。全て自分たちで育成したものは自分たちで最後まで、植えるまで面倒を見るという先生方の考えです。この審議会の場においては引き続き桜並木の整備事業を進めていくという報告もございますし、今後の動きとして市民団体並びに農業高校の力を今後借りて充実した体制でやっていく、そのような内容で今後も期待できる事業として見守っていただければと思います。</p> <p>本日、説明した後、また東京都とも調整した上で、最終的な場所を確定していく予定でございます。</p> <p>以上です。</p> <p>小金井桜整備活用事業について御報告いただきましたけれども、何か御意見、御質問等がございますでしょうか。</p> <p>すみません。図の見方がちょっと、確認なんですけど、灰色の丸の大きさが小さいのから大きいのであるんですけど、例えば小金井橋の右側に小さい丸が5つ並んでいるんですけど、これは植えた時期を表しているんですか。</p> <p>ちょっと図面が分かりにくくて申し訳ありません。狐島委員の御指摘の部分はグレーの網があった既存桜の形が、または大きさが様々と</p>
--	--

<p>二 宮 会 長</p>	<p>いうものがありますが、むしろ形がいびつなものが、丸だったり、楕円形だったりするものがありますが、これは東京都が作成している樹木図に測量した木の樹形を表して、枝張りですね。それに対して小さい丸は植えたばかりのもので、まだ測量図に反映されてないので、機械的に丸となっております。これが成長していつ、何年後かに測量したときに枝張りがまた変わってくる、そういうような見方です。大きいものは既に古木となっている、こういう木を表しております。</p> <p>よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>じゃ、また何かありましたら、最後のほうでもまたお願いしたいと思います。次に進めていきたいと思います。</p>
<p>二 宮 会 長 碓井文化財係長</p>	<p>(3) 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業について 続いて3番目の名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業についてを報告いただきたいと思います。これは係長から。</p> <p>それでは、小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業につきまして、私のほうから御報告させていただきます。</p> <p>2月3日金曜日に第1回を開催させていただいて以降、この間、全6回の実行委員会を開催させていただき、事業の大枠について検討を重ねてまいりました。そして、その検討の中で本記念事業のロゴマークを決定し、広報、周知の目的でステッカーを作成させていただきましたので、本日、委員の皆様のお机にお配りをさせていただいております。</p> <p>なお、今後、年明け早々を目途に、より多くの市民の皆様への広報、周知の目的で、広報チラシ及びポスターを作成させていただく予定です。また、100周年を迎える令和6年12月9日に向けましては、現在、記念式典の開催等を検討させていただいておりますが、令和6年度事業につきましては予算がまだ固まっていないため、詳細な内容につきましては決まり次第御報告させていただければと考えております。</p> <p>また、外部の団体さんとかに御参加いただく実行委員会と併せまして、庁内体制の構築も必要ということで、10月1日付をもちまして、各部庶務担当課及び関係課から成る庁内検討連絡会を併せて発足させていただきましたことを御報告させていただきます。本件につきましては、今後も引き続き、進捗状況等につきまして本審議会に御報告させていただき、必要に応じて、御意見、御審議等を頂戴できればと考えていただいておりますので、今後も何とぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>二 宮 会 長</p>	<p>ありがとうございました。資料はお手元にありますか。今の報告につきまして何か御質問、御意見等いかがでしょうか。</p>

委員	<p>このロゴマークというか、これはなかなかよくできていますよね。ここで大事なのは桜の花は一般的なのね。桜の字の上に葉っぱが3枚乗っているでしょう。これが大事なんですよ。要するに、ヤマザクラの特質はこういうふうに若葉が違うんです。恐らくそれを意識してこれをやったのが、ここが一番大事なんですね。ソメイヨシノはみんな同じですから。葉っぱの色はみんな緑にすればいいですが、でも、ヤマザクラの場合は真っ赤なやつとか、ピンク色の若葉とか、もちろん緑色の。多種多様に出てくるんですね。それが小金井桜の本質的な特質なんです。ヤマザクラというのは種なんです。ソメイヨシノは品種ですから。ですから、ヤマザクラはいろいろな品種があるっていいんです。昔の認定当時、100年前の東大の先生がやったときに品種名をつけているんですね。そのときの一番の違いは花よりもむしろ葉っぱ、樹形やなんかもあるんですけど、葉っぱが、若葉の違いがすごく大きかった。そういう点じゃここが一番ポイントですよ。なかなか優れた、隠れたロゴマークの意味だと思います。</p>
二宮会長	<p>貴重なコメントをありがとうございます。どこかに今のあれを…</p>
委員	<p>知らしめたいですね。</p>
委員	<p>私はいい                    と言おうかと思って。</p>
委員	<p>シンボルマークの由来はちゃんと広めて                    しましたね。</p>
二宮会長	<p>本当に貴重なコメントをありがとうございます。 ほかにいかがでしょうか。また何かありましたら、後ほどお願いしたいと思います。それでは、報告事項（1）から（3）までいただきました。</p>
二宮会長	<p>2 その他 (1) 平代坂遺跡発掘調査速報について</p>
二宮会長	<p>続いて、その他に移っていきたくと思います。その他については2件ありまして、1件目が平代坂遺跡発掘調査速報についてということで、高木さんのほうから。</p>
高木主任 (学芸員)	<p>こちらはちょっと調査も終わったばかりの速報なので、その他事項にさせていただきました。資料は5番を御用意いたしました。今回、発掘調査をしたのは、期間が今年9月から10月にかけて行いました。お手元の厚い、水色の発掘報告書であります。その報告は、昨年実施した大規模な開発における事前の発掘調査の結果報告です。今回の9月、10月に実施したものは開発事業の土地のすぐ道路を挟んで隣側の部分を、実は、一部、公共事業を始めましたので、それでちょっと掘ることになりました。 面積は32平米と非常に狭いものです。 位置関係は、資料5の1枚目の下の図面のほうに位置関係を残して</p>

います。

「令和4年調査」という、ちょっといびつな形のものが今回お配りしている発掘調査の場所、水色の報告書の場所です。今回は、真ん中に道があったその脇、「道の跡」という部分の太線が今回の発掘調査の場所になっています。

ちょっと裏側を見ていただくと、写真だけで恐縮なんですけど、今回の大きな発見は、道の跡が明確に発見されました。現在、市民の方が使っている平代坂という坂の、これは小金井市道ですけれども、とは重ならない、主軸が近いんですけれども、現在の道路のすぐ脇に、また別の道が発掘されたものです。

道の規模ですけれども、幅員、幅は約2メートルであることが分かりました。これが現在の道路にほぼ沿いながら、南北の方向に延びていく、そういう道であるとともに、道の跡だという一つの理由としては、現在、硬い路面が幾つもの、何時期かの路面が地層の中において確認できました。非常に硬質な、固く締まったものが何面もあるというのが特徴です。1回だけの道ではなくて、恐らく何時期かに造り替えているようなイメージなのかもしれません。

一番初期の段階では幅2メートルの道路構築だということが分かっていますし、あと時代については、参考となるものが非常に少なく、土の様子と、唯一見つかった陶器、焼き物の年代感から、恐らく中世後期、14世紀、15世紀頃の瀬戸地方の焼き物ではないかと推測しております。中世の頃には存在していた可能性が非常に高くなりました。

調査の場所が非常に狭い中で、このような形ではっきりと道と分かる状況であることと、現在の道路とまた別のルートが存在していることが、今後研究が必要になってきました。そもそも小金井市の中で明確に中世に遡る道の跡というのは発掘されていませんでしたが、今回初めて中世の、室町時代頃の道の跡が発掘され、思わぬところから見つかったということで、これは重要な発見なので、速報で急遽報告事項にさせていただきました。

今後は、これからまさに分析整理作業を進めているところです。

今年度中にまとめ、あと報告をして1冊に仕上げる予定となっております。そのときにはこの道の評価は一定しなければいけないと思いますし、もし考察が可能なのであれば、この道がどういうところにつながっていくのか、また、市内のほかの道とどう関わっていくのか。また、重要なのは、去年発掘調査した平代坂遺跡、中世の遺跡との関係性です。そういうところが今後いろいろな比較検討ができる大きな要素となり得るものです。二宮先生にも現地を見ていただいて状況を確認していただきましたけども、今後、この道の筋でどこかでまた同じような道が出てくるんじゃないかという、そういう期待もあります

	<p>ので、今後、平代坂遺跡の周辺は注視していくかなと思います。</p> <p>写真の中に推定のラインを入れています。ですので、現在の平代坂遺跡も坂の中腹は切り通しになっているんですね。国分寺崖線をV字状に切って道が造られているんですけども、どうやらこういう景観は恐らく中世まで遡っていいんじゃないかなというのが今回の私の感想です。</p> <p>以上です。</p>
二宮会長	<p>ありがとうございました。短期間に狭いところの発掘だったので大変なあれだったんですけど、なかなか見応えのある調査で、狭いところでやりまして。</p>
委員	<p>何か御意見、御質問等がございますでしょうか。</p>
高木主任(学芸員)	<p>いいですか。これが道だと分かるのは、転圧の度合い。土壌の硬度かなんか測るわけですか。土壌の。それとも、例えば砂利とかが敷いてあるとか、そういうことなんですか。</p>
委員	<p>おっしゃるとおりで、明らかに人為的に土に仕掛けをしているのが分かります。まず1つ硬度、硬さは別に測っているわけじゃないんですけども、目視でも触った感じでも通常の自然堆積とは全く別物の硬さであるのと、委員がおっしゃるように砂利が混ぜ込まれています。それでもって意図的に固めている部分が形成されているのが分かるので、そういうものは道路遺構か、もしくは住居の中であればたたきのような土間ですね。そういうところも同じやり方で固く締めることもありますので、遺跡の中では硬さは非常に重要視しています。</p>
高木主任(学芸員)	<p>例えばたたきみたいなのだと、成分とか、そういうのはあれですか。にがりとか入れているとか、そんなことはない？</p>
委員	<p>これまでは土壌分析をしているところもちろん過去にはあると思うんですけども、中に混ぜ込まれている物質を、例えば花粉分析とかあると思うんですが、なかなか残りにくいものは成分としては見つけにくいのがあります。ただ、腐らない、残るとというのが石とか、そういうものを、細かい石をあえてどこかから持ってきて、工事中に入れるという可能性はありだと思います。</p>
高木主任(学芸員)	<p>この盤というのは表面のレベルですけど、それと周りの崖線の丘が切り通しだというのは分かるわけですか。</p>
委員	<p>そうです。ここはもう少し研究をすべきところではありますが、当時の中世の生活面、地面をどこかに捉えて、そこから当時の傾斜を復元してみないといけないと思います。当時の自然地形の傾斜。あとは道路をどういう勾配で造っていったかと考えると、必ずどこかで崖を切り崩して切り通しにしなきゃいけないと思うので、この調査区でも一部切り通しのちょこっとした部分が残っているので、坂の中腹を道として造っているのは間違いない。</p>
委員	<p>ただ、あれですか。登り切れなかったんですか。昔の人でも。</p>

高木主任 (学芸員)	そういう人だと、かなり……。
委員	勾配を緩くしたんでしょうね。
高木主任 (学芸員)	勾配を緩くしないと。はい、そうですね。非常に近い景色を、国分寺市の……。
委員	例の。
高木主任 (学芸員)	鎌倉街道上道ですね。整備されていますけども、あのような形で…
委員	…。
委員	それと同じ。
高木主任 (学芸員)	はい。かなり近いという。
委員	武蔵国分寺公園で出た遺跡と同じ。
高木主任 (学芸員)	かなり近いです。
委員	近い。
高木主任 (学芸員)	はい。
委員	なるほどね。結構、国分寺崖線の道みたいな、連合体みたいな、できる可能性がありますね。
高木主任 (学芸員)	鎌倉街道、いわゆる上、中、下が、本ルートがある中で、恐らくそういうの間にも支線といいますか、脇道、間道というのが存在するんだろうなというのは、まあ、想定していました。小金井市域でそれが出てくるか、ちょっと予測していませんでしたので、驚きました。
委員	例えば縄文時代は狩猟が主で、稲作なんかいろいろなところに移っていましたがよね。人々は。そのとき、こういう……。でも、そうか。室町かなんかだから関係ないか。そうですね。でも、そういうときは大発見ですね。面白いですね。私はすごく面白いなと思いました。
高木主任 (学芸員)	これが後の近世、江戸時代の土地区画とか道にどうつながるのか、つながらないのか。そこがまた結びつけるのが面白くなってきますし、現在の道路の平代坂というのがこういう中世の道を踏襲しつつ、近世の段階で新たにつけ直している可能性が出てきています。
委員	それはさっきの公図みたいな。
高木主任 (学芸員)	そうですね。公図に中世の道が出てくるかどうかということですね。
委員	そういうのって聞いたことがないですね。道の変遷みたいなのは。東海道とか、そういうのはありますけどね。こういう生活道路みたいな部分ではあまり聞いたことがないですね。分かりました。
二宮会長	ほかによろしいでしょうか。
二宮会長	(2) 多摩郷土誌フェアの開催について
二宮会長	それでは、その他の(2)で多摩郷土誌フェアの開催についてということで、これは係長からお願いいたします。
碓井文化財係長	それでは、多摩郷土誌フェアにつきまして、私のほうから御報告させていただきます。

	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大が発生した令和2年度、3年度につきましては、感染拡大防止のため、開催を見合わせ、昨年度、令和4年度より再開いたしました多摩郷土誌フェアにつきましては、今年度、令和5年度におきましても、無事に令和6年1月20日土曜日、21日日曜日の2日間において開催させていただくことが決定いたしましたので、御報告させていただきます。</p> <p>なお、会場につきましては、従前どおり、立川市女性総合センターアイム1階、また、開催形態につきましても、従前どおり、各市の市史、文化財関連書籍の展示及び対面販売となります。</p> <p>詳細につきましては、今後、文化財部会内部にて設置する担当者連絡会の場で決定していきますので、遅滞なく御報告、広報させていただきたいと考えております。</p> <p>以上、雑駁ではございますが、私からの報告を終わらせていただきます。</p>
二 宮 会 長	<p>ありがとうございます。ただいまの御報告について何か御質問、御意見ございますか。</p> <p>それでは、用意された報告、その他は以上ですけれども、全体を通して何かございましたら、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>さっきヤマザクラの小金井桜のことで農業高校が植えますよね。植えるのは教育委員会でしょうか。小金井市が関わる。教育委員会が植える。どっちが。</p>
高木主任 (学芸員)	<p>これまでは東京都教育委員会が最終的には業者を頼んで植樹は任せています。農業高校で育成した桜につきましては、教育委員会に頼らずに高校側で。</p>
委 員	<p>高校側で。</p>
高木主任 (学芸員)	<p>はい。そこは市との連携協定がありまして、フェンスの中に入って実作業してもらおうと。</p>
委 員	<p>いや、農業高校と小金井市と教育委員会と三者が連携してやったんだみたいなあれをちゃんと明示しておいてもいいと思うんですね。一般市民の方が分かるように。農業高校が関わっているんだと。もちろん小金井市が関わっているのは分かっているんですけどね。農業高校も関わっているというのをちゃんと明示してやってあげたほうがいいと思うんですね。何か将来的な番号やなんか含めて、何かそういう農業高校の関わりをきちんと。小金井市との連携みたいなあれでやったらいいんじゃないかなと思いますね。やっぱり輪を広げるとというのが物すごい大事ですよ、今。</p>
二 宮 会 長	<p>とても大事な御提案ですので、検討いただいて。文化財の案内板みたいなのを活用してもいいのかなと思いますね。</p>
委 員	<p>そうですね。そういうものも必要かもしれませんね。</p>

二 宮 会 長	ほかにかがでしようか。
二 宮 会 長	4 次回の会議日程 それでは、この後、視察という形になりますけれども、次回の会議日程を先に決めておいたほうがよろしいですね。次回が……。これは係長のほうでまとめていただいたほうが……。
碓井文化財係長	次回の会議日程なんですけれども、候補日として3月6日及び3月13日の水曜日を挙げさせていただいてございますが、この2日間で皆様御都合はいかがでしようか。
二 宮 会 長	いかがでしようか。6と13。特にどちらか都合が悪いという方がいらっしやいましたら。大丈夫ですかね。そうしたら、これは早いほうがいいのか、遅くなるか、特にないですかね。
碓井文化財係長	今日、鈴木先生、御欠席でいらっしやいますので、この両日につきまして事務局のほうで早急に鈴木先生に御連絡を取らせていただいて、確認をとらせていただいた上で、早急に日程を決定して委員の皆様御連絡させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。
二 宮 会 長	4回目ですので、全員そろったほうがいいのかと思うので、日程調整をよろしくお願ひいたします。
碓井文化財係長	ありがとうございます。
二 宮 会 長	それでは、視察については今回は屋外ということではなくて、館内という形になりますので、また屋外については何らかの機会御検討いただければいいのかなと思ひます。
高木主任 (学芸員)	それでは、今、10時15分ぐらいですか。少し休憩を挟んで。どのぐらい。 5分ぐらいで。今15分なので、20分頃にまた見学ということでお願ひします。
二 宮 会 長	じゃ、次回はまた御連絡いただくということで3月6日か13日ということで、市役所のほうになるかと。 じゃ、休憩をとって見学したいと思ひます。屋外はないので、早めに終わればそれでいいのかなと思ひますので、よろしくお願ひいたします。
碓井文化財係長	ありがとうございます。